

令和2年度 第3回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和2年11月27日(金) 13時30分から14時10分まで			
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室			
議題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて			
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会会長 沼口 諭		
	委員	大垣市医師会副会長 竹中 清之		
	委員	大垣市医師会理事 森 俊治		
	委員	不破郡医師会副会長 古井 秀彦		
	委員	大垣歯科医師会会長 片野 雅文		
	委員	大垣歯科医師会副会長 萩下 雅仁		
	委員	大垣薬剤師会会長 松本 正平		
	委員	大垣市女性連合会長 竹中 昌子		
	委員	岐阜協立大学看護学部准教授 馬場 貞子		
公開区分	公開			
傍聴人	なし			
審議概要	1. 報告事項			
	(1)定例報告事項			
	1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet利用状況について報告した。			
	①紹介率……2年4月～10月:68.9%			
	逆紹介率……2年4月～10月:134.6%			
	②地域連携予約診案件数…2年4月～10月計:6,675件			
	地域連携予約検査件数…2年4月～10月計:660件			
	③開放型病床登録医数…2年10月末:159人(医科130人、歯科29人)、利用率…2年4月～10月:11.4%			
	④救急受診患者数…2年4月～10月計:18,184人(月平均2,598人) 救急車利用件数…2年4月～10月計:5,161件(月平均737件) 救急入院患者数…2年4月～10月計:1,759件(月平均251件)			
	⑤地域医療従事者に対する研修…2年4月～10月開催数:7回、院外受講者63人 *輸血療法委員会、病診連携カンファレンス、糖尿病コメディカル研修会、院内感染防止対策委員会、薬剤師研修会 等			
市民対象講演会等…2年4月～10月開催数:2回、院外受講者29人 *市民公開講座、糖尿病公開講演会				
⑥地域連携クリニカルパス登録状況…2年4月～10月登録総数593件				

	<p>2年10月末時点でのパス開始からの登録総数:10,010件 ⑦OMNet利用状況…2年10月末時点の利用登録医療機関:115機関 診療情報閲覧に同意した患者総数:28,447人</p> <p>2)上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。</p> <p>(委員) 救急も含めて外来の数が少なくなっているのはコロナの関係が大きいという考え方でよいか。</p> <p>(事務局) そのように考えている。</p> <p>(委員) 最近は元に戻りつつあると聞いているが救急外来の状況は。</p> <p>(事務局) 救急は4月、5月がかなり少なかった。一番の落ち込みは春先だった。</p> <p>(委員) 救急外来に対する受診の考え方は変わってきていると考えた方がいいか。</p> <p>(事務局) ウォークインの患者の数が減っているということで、重症者は減っている印象はない。</p> <p>(委員) 市民を対象にした研修等どうしてもコロナの影響で人が集まるのが難しい状況になっている。Zoomを使って病診連携カンファレンス等を開催されているが市民公開講座はなかなか難しいと思う。講演会に関してアイデア等はあるのか。</p> <p>(事務局) 市民公開講座の参加者は比較的高齢の方が多いのでZoomでの参加は難しいと考えている。参加定員は50名として開催している。資料はホームページにアップし、参加できなかつた方々に見てもらえるようにしている。</p> <p>(委員) こうした会を望んでみえる方はいらっしゃると思うので、配慮、工夫しながら開催してもらえると嬉しい。</p> <p>(委員) 循環器内科、胸部外科の逆紹介率は高いが理由はあるのか。</p> <p>(事務局) 循環器内科等の割合が高いのは、パス等で連携をしている患者さんは年1回受診といった形でたくさんみえ、定期的に紹介状、検査結果を診療情報提供しているためと考えられる。胸部外科は新患で受診される方は少なく、循環器内科からの紹介等で患者さんが受診する。新患患者の分母が少ないため紹介すると逆紹介率は高くなる。</p>
--	--

	<p>(2)紹介率向上への取り組みについて</p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <p>①令和2年度4月から10月までの患者さんからの電話予約実績件数は313件で、元年度同期間と比較して150件32.4%の減少。地域別では大垣市の先生が9割以上を占めている。診療科別件数は歯科口腔外科が約4割を占めており、皮膚科、小児科の順となっている。</p> <p>②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和2年度4月から10月まで33件。診療科別としては、循環器内科が51.5%、整形外科が12.1%の順となっている。</p> <p>2)委員から、上記の報告について意見・質問はなし。</p> <p>2. その他</p> <p>(委員)</p> <p>オンライン診療をされている患者さんについて、どのようにオンライン診療を周知しているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>オンライン診療の周知はホームページ、外来の待合入った所に表示をしている。</p> <p>(委員)</p> <p>芭蕉ネットの在宅医療についても少しずつ数が増え、薬剤師、歯科医師と連携が取れるようになってきた。大垣市民病院でも診て頂きたい。</p> <p>市在宅医療・介護連携推進事業の人生会議部会において、ACPを大垣市の中でどうやって広めていくかということを考えているのでご協力をお願いしたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>9月から11月に医療機関の訪問を実施し、全部で約220件訪問したので報告させて頂く。</p>
次回開催	令和2年度第4回委員会は2月5日に開催予定とする。